

西紀南小 子ども新聞

西紀南小学校

児童会

2016年12月22日冬号(No4)



地域のみなさまへ

いつも私たちへの応援、ありがとうございます。ついに今年度の最終号の子ども新聞になりました。この号では、十一月以降の主な行事を中心にお知らせします。

季節ごと、わずか四号の発行でしたが、この新聞を通して、西紀南小学校での私たちの様子を少しでも知っていただければうれしいです。

いよいよ冬休みに入ります。地域の中で、安全に、そして健康に過ごせるよう、児童会を中心に全校生に呼びかけています。そして、地域の中でもあいさつを頑張ることや年末年始の伝統的な行事にも進んで参加していくこと等も呼びかけています。地域のみなさま、冬休み中もよろしくお願ひします。

児童会会長

六年 長澤 風花

学習発表会を終えて

11月19日

(あゝ緊張する)

僕はそう思いました。でも最後の学習発表会、楽しもうと思いましたが。僕たちの発表は、最後だったのですごく待ちました。ほかの学年の発表を見ていると、「本当にすごい」と思いました。みんな大きな声で頑張っていました。だから、「負けてられない、僕たちも頑張ろう。」そう思いました。

僕たちの出番がきました。練習初日は、台本を見ていてまったく覚えられませんでした。練習をしていくうちに覚えていきました。『伊能忠敬 歩いてつくった日本地図誕生物語〜夢・絆・西紀の地域〜』を題に頑張りました。忠敬が亡くなる場面、うまくできませんでしたが。練習よりはできたけれど、もう少しできたかなと思います。でも、最後までやり切れて本当によかったです。これまで学習してきた伊能忠敬のまとめができました。(最後の学習発表会、楽しかったー。)中学生になっても、この劇をしたことを忘れないでたいです。

六年 北山 慧

学習発表会の内容を初めて聞いた時は、正直言って嬉しかったです。理由は、歴史が好きだし、日本地図誕生物語という題も良いと思ったからです。

台本をもらったと同時に思ったことは、(役を何にしようかな)でした。迷った結果、忠敬役に決めました。はじめはセリフが多すぎて困ったけど、練習していくうちに覚えることができたので、安心しました。

そしてついに本番、当日になりました。僕はいつも行事の日になるととても緊張してしまつけど、今回の学習発表会はまったく緊張しませんでした。そのときぼくはこう思いました。(練習どおりにやれば大丈夫。)そう信じて本番に挑みました。そして、忠敬役が終わったあとは、とてもすっきりしました。

今回の学習発表会は、今までにならぬほど全力でできました。今回の学習発表会と同じように、他のことも全力でできるように頑張りたいです。

六年 畑勝己

他の学年の発表を振り返って

一年生では、全員で言うところがじょうずでしたし、一人一人のセリフも元気よくできていました。特にエシベーターの案内人のところがすごく面白かったです。

二年生は、内容的に難しい発表でしたが、ハキハキ言えていました。ただ国旗を紹介するだけでなく、その意味や願いについて発表しているところもよかったです。

三年生の発表では、篠山について深く調べていました。桃太郎風に物語りが作られていていいと思いました。他の学年よりもすごく声が大きくてしっかりと伝わってきました。

四年生は、十人という少ない人数でいろいろな役を果たしてがんばっていました。先生役も面白かったし、マリオやドラえもん出てきていたのでびっくりしました。パラリンピックの「パラ」が「もう一つの」という意味と言ったことがわかり、勉強になりました。

五年生の発表は、今までに見たことのない英語劇で、覚えるのも一番大変だったと思います。動作も大きく難しい劇だけど、みんなの心が一つになっていたのですごくいいなと思いました。

六年 塚本 すみれ



焼き芋大会から

十一月一日、児童会行事、焼き芋大会が行いました。幼稚園児もいっしょにオーブニングではダンスをして、楽しくスタートしました。そして自分たちで収穫したさつまいもを火の中に入れました。

焼いている間、下級生たちは、六年生が企画準備していた三つの「お楽しみコーナー」をたて割り班ごとにめぐって楽しみました。チャンバラ・エンドレスリレー・くじびきの三つのコーナーでした。下級生たちはとても楽しんでいましたが、ぼくはチャンバラコーナーで、下級生たちに追いかけられるばかりで逃げるのにへとへとになりました。六年生たちはつかれたことと思います。

コーナーで楽しんだ後、焼き芋ができてあがっていました。幼稚園児・小学生みんなで班ごとに食べました。焼きたてはとってもおいしくて、みんなから大好評でした。

六年 山本 大輔



マラソン記録会から

十二月六日、校内マラソン記録会がありました。練習では、どの学年も最後まであきらめず必死で走って頑張っていました。本番も全学年完走できました。その中には大会新記録を出した子が二人もいました。

特に六年生は最後なので、この日に向けて学校のマラソン練習の他にも個人で練習している子もたくさんいました。ぼくもこの最後の記録会で、おしくも二位でしたが、一四分前半(三・一km)を出すことができ、自己新記録が達成できました。大きく更新することができ、思い出に残る行事となりました。

六年 足立 有紀



私は練習の時、女子で一位、タイムは一六分台を目指していました。五・六年生は三・一kmも走るの十六分台が出るのか心配でした。練習初日は一六分台、意外と速く走れました。三回目は一五分台がでてこの調子でがんばろうと思いました。それで本番の日、とても緊張しました。本番は絶対にタイムを伸ばそうと思い頑張りました。そして一四分台を出すことができ、とても嬉しかったです。校内新記録は出せませんでした、自分のベストタイムが出て本当によかったです。

六年 児童会役員 中西 麗海

今後の児童会活動について

○『みなみっこ劇場』…「冬休みのくらしのきまり」がわかりやすく伝えられるよう、役員が演じて呼びかけます。
○『百人一首大会』…南小の伝統行事であり、毎年三学期に児童会主催で全校生で行います。冬休みに一つでも多く覚えられるようにみんな頑張っています。
○『六年生を送る会』…いよいよ今年度も残りわずかとなりました。五年生が、来年度最高学年になるという意識をもって、この会の企画・運営を行っていきます。六年生からのバトンをしっかり受けついでいきます。

五年 児童会役員 田中 悠斗

あいさつ運動から

私たちは三のつく日にあいさつ運動をしています。先日は育成会の方ともあいさつ運動をしました。「のぼり」を児童会役員がもって、あいさつお作文で運動をしています。
あ…あいてよりい…いい顔でさ…さきにつ…つたえよう
で、あいさつのポイントを伝えていきます。
今、みんなのあいさつが前よりすごく大きな声になり、みんなから先にしてくれるようになり、とてもうれしいです。
私は、あいさつをすれば、今よりもっといい学校になると思っています。

五年 児童会役員 岡部 優

インターネットのルールづくり

最近、ネット、ゲーム機の使用をめぐって、使い過ぎやトラブルに巻き込まれるなどの問題ができています。先日、西紀三小学校(西紀小・北小・南小)の児童会代表者で話し合いをもち、使い方のルール作りをしました。使用時間や守らなければならない約束事を、七つ決めました。全校生には僕たちから説明しました。お家での協力のもと冬休みから取り組みます。

六年 児童会役員 田中 創太郎